

## 久留米エリア

### (1)事業概要

- 地方自治体：福岡県・久留米市
- 課題：「テーラーメイド型医薬・診断薬及び疾病予防機能性食品の開発」
- 中核機関：株式会社久留米リサーチ・パーク
- 核となる研究機関：久留米大学
- 概要：産学官連携によるメディカルバイオクラスター形成を目指す久留米エリアでは、高いポテンシャルを有する久留米大学医学部の臨床研究を核に、最新の分子生物学に基づいて個人の免疫特性に応じた副作用などのリスクの少ないテーラーメイド型医薬・診断薬の開発や生活習慣病などの予防につながる新規機能性食品の実用化を目指し、バイオベンチャー創出や地域企業の新規事業化に向けた共同研究を進めている。また、理工系大学が多い福岡県の特徴を活かして大学等研究機関の研究成果の中から、地域企業の事業化につながる研究課題を科学技術コーディネータが発掘して、数多くの可能性試験を実施し、地域企業との共同研究をコーディネートすることにより、機能性食品や化粧品などの原料となるラクトフェリンを牛乳廃棄物から抽出する技術を確立し、地域企業による事業化・実用化を目指す。

### (2)評価

本地域では、バイオ産業の一大集積を目指した「福岡バイオバレープロジェクト」を推進しており、「福岡バイオインキュベーションセンター」の開設、「福岡県バイオベンチャー等育成事業」、「バイオ基盤技術開発事業」や地域ベンチャーファンドの設立等積極的な取り組みが見られる。

事業計画については、産学官共同研究の実施件数やバイオベンチャー企業の創出数で目標を達成しており、概ね適切であったといえる。本事業を進捗管理する体制、特に医薬品開発に関しては、経験者や専門家のノウハウを活かした取り組みをしている点が高く評価できる。

研究開発の成果については、共同研究事業の3テーマに関して、それぞれ実用化につながると考えられる研究成果があがっており、評価できる。可能性試験も含めて特許出願件数が多く、すでに特許権の実施もあり成果として認められる。ただし、可能性試験については、内容が多岐にわたっているため、今後は「福岡バイオバレープロジェクト」における位置付けを明確にして、研究成果を展開していくことが望まれる。

地域の取り組みとして、バイオベンチャー企業の育成、研究開発で得られた成果の臨床試験への支援など、産学官連携を目指した施策を推進するとともに、「福岡バイオバレープロジェクト」事務局にバイオ産業振興プロデューサーや専任インキュベーションマネージャを配

置したり、久留米大学に学長主導の産学官連携戦略本部を設置するなどして事業推進体制の強化を図ってきたことは評価できる。また、研究から製造へ移行段階にあるバイオベンチャーなどが試作や生産を行うことができるスペースを提供する「バイオフィクトリー」の建設を進める等、今後の継続的な取組みが計画されており、期待できる。

(3) 項目別評価結果

1. 目標達成度		A
2. 事業計画		A
3. 事業成果	(1) 連携基盤の構築	A
	(2) 研究開発の成果	A
4. 地域の取組	(1) これまでの取組	A
	(2) 持続性・自立性	A